ボーリング柱状図

調　　査　　名　向地区　急傾斜地崩壊防止施設緊急改築事業に伴う業務委託

事 業 ・ 工 事 名

ボーリングNo.	5	1	3	2	2	5	3	5	0	0	0

シートNo.

ボーリング名	No.28-4	調査位置	呉市蒲刈町　向			北緯	34° 11’ 35.4200″
発注機関	広島県西部建設事務所　呉支所	調査期間	平成28年 5月13日～平成28年 5月16日			東経	132° 41’ 19.4580″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	56.95m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	YBM-05型	ハンマー落下用具	自動落下
総掘進長	12.00m								エンジン	ヤンマーNFD-9	ポンプ	YBMGP-3

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率(%) / 最大コア長 cm / RQD[%]	岩級区分	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度 m	打撃回数／貫入量 回/cm	N値	原位置試験	室内試験	掘進 掘進月日	掘進速度 cm／時	孔径／孔壁保護	コアチューブ／ビット／打ち込み	給圧 MPa	回転数 rpm	送水圧 MPa	送水量 l／分	排水量 l／分
1				礫混り砂質土	暗褐灰						レキ混じり砂で非常に緩く礫5mm～30mmである。				1.15	6/30								0	0			
2	54.45	2.50													1.45													
3				泥岩	暗灰	D	Ⅳ	c	δ	2	コア短柱状～柱状で所々レキ状にて採取される。3.10m付近より全漏水する。	5[0]	CL		2.15	5/30										0～1	泥水／10	10
4															2.45													
5	51.65	5.30									竜裂面一部土砂化する。	5[0]			3.00	50/7												
6	50.95	6.00				C	Ⅲ				コアはやや硬質となるか柱状～短柱状。	11[11]	CM		3.07													
7						D	Ⅳ～Ⅴ			2～3	GL-6.0～6.6m間、弱破砕され土砂状となる。	5[0]	CL		4.00	50/1												
8	48.50	8.45										5[0]			4.01													
9						C	Ⅲ		γ	2	GL-8.45m付近より短柱状コア主体で、やや硬質となる。GL-8.5m付近より含礫状の泥岩となる。	10[10]			5.00	50/9												
10	47.05	9.90										10[10]			5.09													
11	46.55	10.40				D	Ⅲ～Ⅳ			1	短柱状コア主体でやや硬質となる。GL-10.4～11.2m間斜亀裂が多い。	40[40]	CM		6.00	50/11												
12	45.75	11.20										10[20]	CL		6.11													
13	44.95	12.00				C	Ⅲ	b					CM		7.00	50/2												
14															7.02													
15																												
16																												
17																												

標準貫入試験 深度 m：1.15 1.45 2.15 2.45 3.00 3.07 4.00 4.01 5.00 5.09 6.00 6.11 7.00 7.02

標準貫入試験 打撃回数／貫入量 回/cm：6/30 5/30 50/7 50/1 50/9 50/11 50/2

標準貫入試験 N値：0 10 20 30 40 50 60

掘進 掘進月日：5/13 5/14 5/16

掘進 掘進速度 cm／時：540～480

掘進 孔径／孔壁保護：66

掘進 コアチューブ／ビット／打ち込み：HW／DI

掘進 給圧 MPa：100～300

掘進 回転数 rpm：150

掘進 送水圧 MPa：0～1

掘進 送水量 l／分：泥水／10

掘進 排水量 l／分：10　0